

産経新聞

平成14年(2002)日付2月19日

3/7 [木]



読者サービスセンター
THE SANKEI SHIMBUN
発行所: 東京都千代田区外神田1-10-1
〒100-8777 大阪支店: 大阪市淀川区4-4
TEL: 06-6261-4141 FAX: 06-6261-4142

中堅・ベンチャー



道すがら、過度の練習から内臓を悪くし、プロデビュー戦は小差の判定負け。プロを断念した小笹CEOはアルバイト先の塗装店で腕を磨いた。昭和五十九年、二十一歳で独立しオササ塗装工業を設立。公共工事にも参加できるようにと、四

独自の外壁塗装技術で急成長

構造不況が指摘される建設業界。その中で、住宅外壁のリフォームに特化した事業展開で、大きく業績を伸ばしているのがオンテックス(大阪市住吉区、小笹公也CEO)だ。最高経営責任者(CEO)は、志半ばでグループを置いた元プロボクサーは、ビジネスというリングでは二十一年足らずで年商百億円を超す事業に育て上げた。元プロボクサー、具志堅用高にあがれ、十七歳で選んだボクサーの

と生まれた。一方、社内制度の改革にも積極的に取り組んだ。塗装工など技術職社員にも、一定の条件を満たせば昇給するシステムを導入。徒弟制度の残る職人の世界に、透明性を持たせたほか、課長級以上の職人にはトラックや資材を貸与し、独立を支援する制度も導入した。また、営業社員には年間営業成績の2%を支給する成果分配給を導入。顧客からクレームがある時点で営業成績がゼロになるシステムが、導入により施工後の顧客に対するケアも充実した。

この四月には新卒社員を四百五十人採用する。これまで西日本中心だった営業拠点を、来年度四十三店舗に倍増。関東圏での事業展開を本格化させる。

年後には株式会社化し、ク系の塗料を、一般家庭のリニューアルに利用。だが、当時はゼネコンや大手工務店からの下請け業務が大半。工賃の未回収や不渡りなどのトラブルに加え、バブル崩壊後は小口の仕事にも大

そんな取り組みから生まれたのが、平成八年に特許出願した防カビ効果の高いセラミック塗料「セラモールド」や、平



【本社】 大阪市住吉区芥田2ノ15ノ5
【資本金】 1億9475万円
【代表者】 小笹公也CEO
【創業】 昭和59年7月
【売上高】 110億円(平成13年3月期、グループ連結)
【従業員】 460人

「不況で新築住宅着工数が落ちれば、それだけ住宅の補修やリフォームへのニーズは高まる。再来年には創業二十周年を迎えるが、この節目に合わせて株式の店頭公開を目指す」と小笹CEO。鋭いフットワークで、着実に目標に迫っている。

オンテックス